

まちづくりの推進のための取組の評価

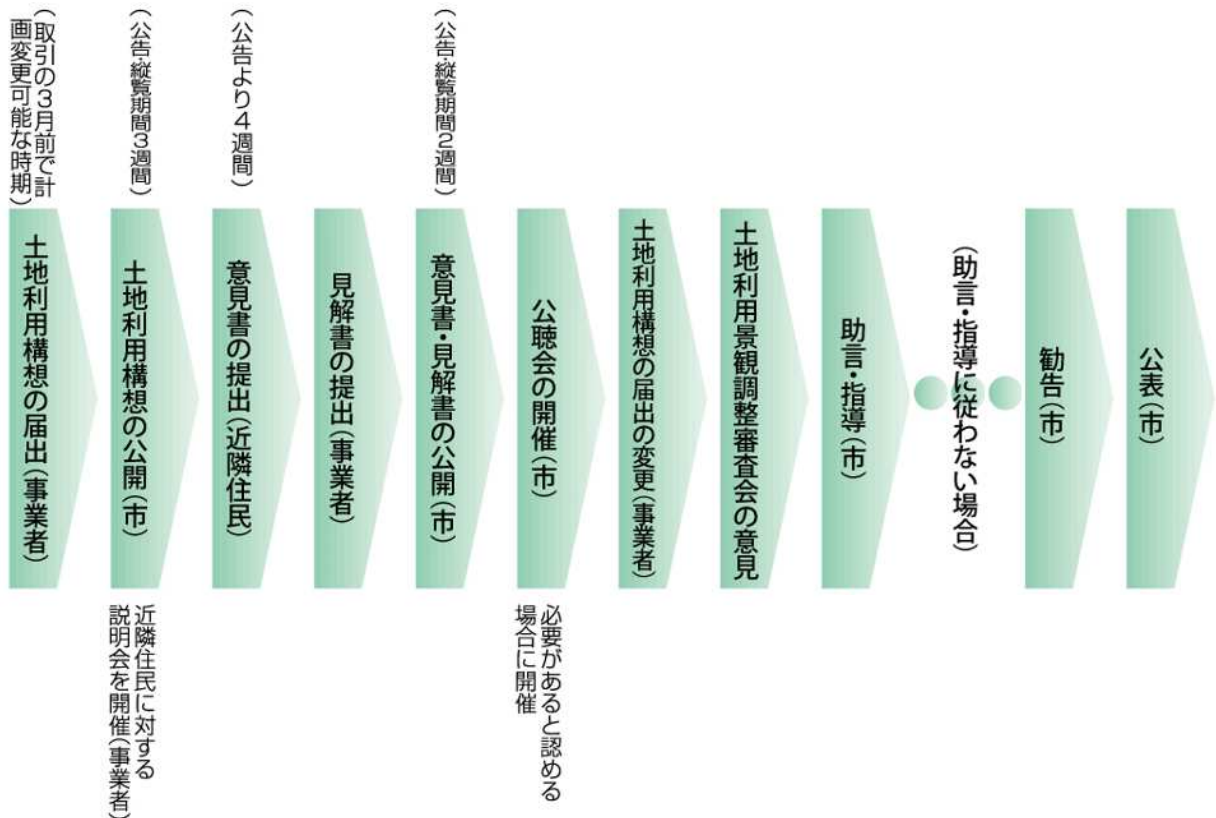
及び において評価した都市計画マスタープランに基づくまちづくりについては、「市民との協働によるまちづくり」及び「効率的・効果的なまちづくり」の2つの方策により推進しており、これらのまちづくり推進方策について評価をしています。

- 1 市民との協働によるまちづくり

<p>現行方針における施策概要</p>	<p>(1) 市民と市の協働のまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域まちづくり条例に基づく各種の仕組みを活用しながら、まちづくりの各段階において、市民と市が情報を共有しながら、市民主体のまちづくり活動を推進 <p>(2) 地域の特性を踏まえた市民主体の詳細なルールづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が主体となった地区計画等の策定への取組などを積極的に市民に周知し、地域住民が主体となり、地域の特性を踏まえた詳細なルールづくりを推進 <p>(3) 地域の特性を踏まえた良好な開発事業の誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開発事業に際して、マスタープランの各種方針、「開発事業まちづくり配慮指針」に基づくとともに、事業者が積極的に地区計画等の検討に取り組めるよう誘導 <p>(4) まちづくりの担い手となるソフトパワーの育成・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の経験、知識などの「ソフトパワー」を活かし、道路、公園、文化センターなどの公共施設を良好に維持・管理しながら、新たな価値を付加していく「持続可能なまちづくり」を推進
<p>施策の主な事業実績・成果</p>	<p>地域別まちづくり方針の案の提案（地域まちづくり条例第9条）</p> <p>大規模敷地の土地利用転換の動向を契機として、その周辺地区の住民が大規模敷地を含む地域別まちづくり方針案を市長に提案し、その提案を踏まえて地区計画の導入を推進（住吉町五丁目地区及び晴見町地区）</p> <p>なお、北山地区、分倍河原駅周辺地区、是政6丁目地区及び多磨駅周辺地区の4地区では、地域まちづくり条例の制定以前に地区住民が組織したまちづくり協議会から市長にまちづくり提案が行われ、そのまちづくり提案に基づき、各種の地域まちづくりが進展</p> <p>地区計画等の原案の申出（地域まちづくり条例第11条）</p> <p>大規模土地利用転換や敷地細分化によるミニ開発など、住環境の悪化への懸念を踏まえ、地区住民が主体となって「地区計画の原案の申出」を行い、原案に基づく地区計画を策定（府中アゼリア台住宅地区、住吉町五丁目地区、若松町二丁目地区及び幸町二丁目地区）</p> <p>大規模開発事業に際して、事業者からの「地区計画の原案の申出」に基</p>

	<p>づく地区計画を策定（天神町一丁目地区、四谷五丁目地区及び白糸台三丁目地区）</p> <p>開発事業まちづくり配慮指針（地域まちづくり条例第 17 条の 2）</p> <p>良好な開発事業を誘導するために「開発事業まちづくり配慮指針」を定め、開発事業の事前協議に際して、これらの指針への適合状況を「まちづくり配慮事項チェックシート」により開発事業者が自ら確認し、市に提出する仕組みを設定</p> <p>大規模開発事業の土地利用調整（地域まちづくり条例第 23 条～33 条）</p> <p>大規模な土地利用転換を適正に誘導するため、条例に基づく大規模開発事業に関する手続きを 36 件（平成 26 年度末現在）実施し、公聴会の開催により市民意見を反映</p> <p>開発事業等における地区計画等の活用（地域まちづくり条例第 6 条）</p> <p>大規模開発事業を想定し、国有地の土地利用転換に際して事前に地区計画を導入（朝日町三丁目地区及び多磨駅東地区）</p> <p>良好な開発事業の誘導により形成された環境の保全を図るため、開発事業に際して地区計画等導入（多磨町一丁目住宅地区、天神町一丁目地区、四谷五丁目地区及び白糸台三丁目地区）</p> <p>基盤施設の維持管理における市民活動との連携</p> <p>「府中市インフラマネジメント計画」の策定及び実行</p>
--	--

府中市地域まちづくり条例による大規模開発事業の土地利用調整の手続フロー



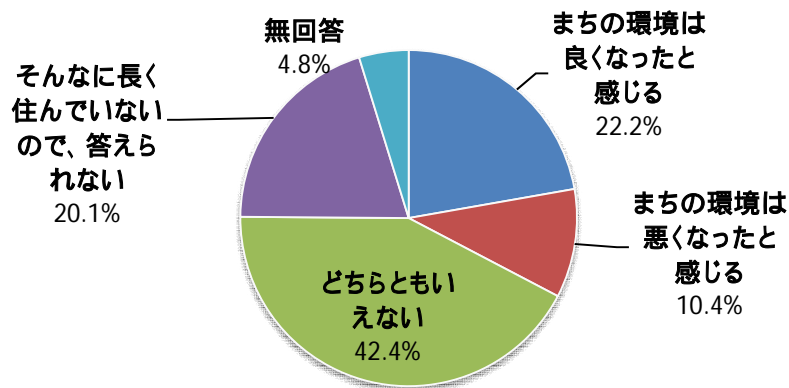
- 2 効率的・効果的なまちづくり

<p>現行方針における施策概要</p>	<p>(1) 効率的・効果的なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続性を持ったまちづくりを進めていくため、安定的な財源の確保 ・事業を進めるに当たって、評価を客観的に行い、投資に向けて優先順位を定め、効率的かつ効果的な事業の実施 ・基盤施設等について適切な維持、更新とともに、時代の要請や地域の特性に応じた機能の向上を図ることにより公共投資の効率化 ・公共施設の整備や維持管理に当たっては、ソフトパワーの活用を検討していくことで、公共投資の効率化と市民のまちづくりに対する参加意識を高揚 ・公共事業の実施に民間の活力を積極的に取り入れていくことで、財政負担の軽減等による効率化を図るとともに、官民共同の発想による個性あるまちづくりを推進 <p>(2) 市民との協働による地域まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランの実現に向けた「推進すべき地域まちづくり」について、市民、事業者及び府中市が協働で取組を推進 ・地域まちづくりを地域住民等と市が協働で取組を進めていく体制づくりを具体化していくモデル的な取組の実施 ・まちの骨格となる公共施設整備や大規模な土地利用転換に際して、「まちづくり誘導地区」などの検討を行い、早い段階から市民とのまちづくりを推進
<p>施策の主な事業実績・成果</p>	<p>「けやき並木通り周辺地区道路等包括管理事業」の試行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中市インフラマネジメント計画に基づく試行的取組として、平成26年度からけやき並木通り周辺地区において、道路管理業務の効率化と民間活力の活用を図ることを目的として、「巡回、不具合通報対応、補修など」の業務を1つの企業体に包括的に委託する道路等包括管理委託を実施 <p>道路・公園の管理ボランティア制度『府中まちなかきらら』の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「府中市インフラマネジメント計画」に基づき、道路・公園の管理ボランティア制度『府中まちなかきらら』を創設し、当該制度を活用したボランティア活動を実施 <p>府中駅周辺地域における「エリアマネジメント」への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・けやき並木周辺のにぎわいを強化して市内各地域に広げることや、地域による主体的なけやき並木の保護・管理を目指したエリアマネジメントを行う組織として、「L♡ve ふちゅう賑わい創出委員会」を設立 <p>まちづくり誘導地区の指定とまちづくり誘導計画の策定（地域まちづくり条例第9条の2～5）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模な土地利用転換が予想される地区等を指定し、地区住民と市が事前に開発事業等の誘導のあり方を検討し、方向性を定めておく「まちづくり誘導計画」を策定し、その後2地区において開発事業を前提とした地区計画を導入（浅間山周辺地区、天神町地区、晴見町地区、多磨駅西地区、本宿町地区及び新町・栄町地区）

< 市民意識調査の結果から >

府中のまちの印象

10年くらい前と比べると、「まちの環境は良くなったと感じる」と回答した人は、回答者全体の約2割、「まちの環境は悪くなったと感じる」と回答した人は、回答者全体の約1割、「どちらともいえない」と回答した人は、回答者全体の約4割を占めています。



回答数: 1,426

主な「まちの環境が良くなったと感じる」理由

- ・ ちゅうバスができて便利になった
- ・ 京王線の駅がきれいになった
- ・ 西府駅ができて便利になった
- ・ 道路や歩道の整備が進んでいる
- ・ 図書館等の公共施設が充実してきた
- ・ 競馬場が新しくなり、イメージが良くなった
- ・ 府中駅周辺にデパートや映画館ができて便利になった
- ・ 近くに商業施設ができて便利になった
- ・ 幹線道路の整備に合わせて店舗ができ便利になった
- ・ 公園や緑地帯が整備されてきた
- ・ ジャズや祭りなど楽しめるイベントが増えた
- ・ ダストボックスがなくなって道路がきれいになった

主な「まちの環境が悪くなったと感じる」理由

- ・ 宅地化が進み、農地や緑が少なくなった
- ・ 自動車交通量が増え、交通事故が増えたり、空気が汚くなったりした
- ・ 府中駅周辺や幹線道路沿いに高層マンションが増え、景観が悪くなった
- ・ 個人商店が閉店し、大型店が増えた
- ・ 商店街が閑散としている
- ・ 公園や街路樹の手入れが不十分
- ・ ごみのポイ捨てが増え、住民のマナーが低下した
- ・ 道路の修繕が行われていない
- ・ 公園の遊具が古くなった

< 市民意識調査の結果から >

今後の都市計画の進め方について

「4. 民間の活力を活かしたまちづくり手法を導入した方がよい」「5. 市民や企業の意見を反映させるやり方でまちづくりを進めた方がよい」と感じる人は、「そう思う」「ややそう思う」を合わせると、回答者の7割以上になっています。

